



◎私は、本村のふるさと納税をして頂く対象者として、一番先に考えなくてはいけないのは星野村出身の方だろうと思います。まず現在星野村に住まいになっている方々のお子さん・親戚関係を対象に絞るべきだと思います。本村に住まいの方々へどんな制度か周知徹底させる事から始めたらどうでしょうか？

『「ふるさと納税」を頼んどくバイ』のロコミからが確実だと思えますが、村長はどうお考えか？

◎星野村出身の方々へのアプローチになりませんが、村外で暮らしていらっしゃる星野村出身の組織はどの程度の把できているのか？

◎私は、お盆や正月などに村内の色々な年代で同窓会を開催されていると思いますが、その同窓会との連携も大切だと思います。ご存知かもしれませんが、大分県には「カボス大使」というものがあります。大分へ転勤してきた各会社の支店長・支社長などが新春に集い、その会合で知事が「カボス大使」に任命します。

その支店長・支社長が他の支店へ転勤しても大分特産のカボスを広めてもらうという

ソフト面でのシステムづくりが出来ています。

これを本村に応用して、全国で活躍されている星野村出身の方に正月などの里帰りの際、池の山荘で会合を持ち、例えば「玉露大使」や「棚田大使」や「きらら大使」になって頂いて星野村のPRをして頂くシステムづくりをすべきだと私は思いますが、村長の見解は？

◎次に「ふるさと納税」で集めたお金をどんな目的に使うていくのか、星野村独自の項目を出す必要があると思います。

どんな項目が星野村独自の項目だとお考えなのか？

◎私は、山村留学、棚田保全、伝統本玉露の継承などを考えています。又、他の自治体も知恵を絞ってませんが、星野村としても「ふるさと納税」である一定金額以上を頂いた方には、例えば池の山荘のペア宿泊券を贈って星野村へお越し頂く機会を設ける等、色々アイデアを出すと良いと思います。

この件については、「ふるさと納税」を先取りした九州初の寄付金条例を始められ、効果も上げられた江藤氏が本村の副村長でい

らっしゃいますので、力強いと思います。

「ふるさと納税」制度は、星野村が八女筑後地区の中でも、最も実績を出せる要素を持っていると思いますが、副村長その点に関してご意見があれば一言お願いします。

◎午前中の質問の中で、市町村合併に関しての村長の考えがでしたが、私は、星野村がこれまでやってきた村づくりに共感し、この星野村という小さな自治体だからこそ応援したい！と考える方が多いのではないかと思います。

八女市という大きな母体よりも特長あるPRが出来ると思いますが、村長の見解は？

◎卒業、入学、就職、別れ、出会いなど現在は、「ふるさと」というキーワードを連想させる季節だろうと思います。教育の現場でも「ふるさと星野村」の大切さ・郷土への思いは小中学校でもしっかりと生徒に根付かせて頂いていると思います。教育長、その点について一言あればお願いします。

◎最後に、日本中には資産をもっている方も数多くいらっしゃいます。この方々の気持ちの受け皿として、この「ふるさと納税」制度と併せて、寄付金条例制定など寄付金

を多く集める施策も早く取り組むべきではないかと思いますが、村長の考えを伺います。』

うさぎおいしかのやま  
こぶなつりしかのかわ



## 市町村合併も大詰めにかけています！

昨年12月3日に始まった八女地区1市2町2村合併協議会は、7回目を迎えた今年3月27日に全ての協議が終了しました。

議員定数や地方税の審議では各市町村の委員から色々な意見・要望が出され、折り合いがつかず何度も次回の協議へと持ち越されました。結果として合併して新八女市になった当初、星野村の議員は1名になる事が決定しました。(星野村1名・矢部村1名・黒木町6名・立花町5名・八女市18名、計31名)、(地方税は合併して3年間は据え置きでその後八女市に統一する)

3月定例会の追加日程の最終日となった3月21日、「合併の賛否を問う住民投票条例制定」の議案の審議がなされました。

私は、今回の住民投票条例制定の議案が提出されるに至った経緯も含め整理しながら議場で高木村長へ質問をしました。

質問の内容は概ね次のとおりです。

『村長が出された意見書の中で、「現在住民の中には合併に賛成、反対のさまざまな意見があります。私はこれまでも住民の意見を尊重しながら村政を執行してまいりました。」の文面があります。この意見を尊重しながらというところが、合併問題に関しては十分ではなかったと私は思います。

今回の住民投票条例制定の請求が住民から上がってきた背景は、昨年9月4日から7日までの4日間に渡って行われた各校区での「合併経過説明会」、その後に行われた「1市2町2村合併に関するアンケート調査」、そしてそのアンケート調査の内容に対する執行部の説明が十分なされていないのではないか。

そこで、星野村始まって以来、最大の大きな問題に対してこれまでの村の対応を整理しながら村長に質問します。

1市2町2村市町村合併住民意向調査票

問1 あなたの性別をお答えください  
① 男 ② 女  問回答 1 答

問2 あなたの年齢をお答えください  
① 20～29歳 ② 30～39歳 ③ 40～49歳  
④ 50～59歳 ⑤ 60～69歳 ⑥ 70歳以上  問回答 2 答

問3 あなたのお住まいをお答えください  
①小野地区 ②椋谷地区 ③星野地区 ④上郷地区  問回答 3 答

問4 星野村と八女市、黒木町、立花町及び矢部村との合併に関して、あなたの考えに最も近いもの一つを選んでください。  
①賛成する  
②八女地域の将来のまちづくり、自治体の財政状況や時代の流れなどを考えると合併はやむを得ない  
③反対である  問回答 4 答

【自由意見欄】※賛成や反対の理由、分からないなどの意見をお書きください。

## ● 全員協議会でも議員の中から、そして住民

説明会での住民の中からも、住民アンケート調査の質問項目の中で、「合併に賛成、財政状況を考えると合併はやむを得ない、反対」という3つ項目では疑問があり、②の「八女地区の将来のまちづくり、自治体の財政状況や時代の流れなどを考えると合併はやむを得ない」は、合併への誘導質問ではないのか?や「賛成、反対、現状ではどちらか分からない」の3つの項目でやったかどうか?などの意見が出ました。

お伺いします。村長は、アンケートの項目は3つで良かったと思われませんか?

## ● 住民説明会の席で、合併しない場合のシミュレーションと1市2町2村で合併した場合のシミュレーションの内容について、住

民説明会の席で、合併しない場合のシミュレーションと1市2町2村で合併した場合のシミュレーションの内容について、住

民から不十分な内容であると指摘がされましたが、提示されたシミュレーションについてお伺いします。村長は、十分であったと思われませんか？

●又、住民説明会でもアンケートの結果は、合併に対しての一つの参考とするという事でした。しかしながら、出てきた結果で、「②やむをえない」を賛成とみなした事についてお伺いします。それは村長の本意であったのですか？

●10月2日に5市町村の組長が共同会見した内容で、八女市の野田市長は「合併すると財政がより悪化する懸念もある」と会見している記事が10月3日の『西日本新聞ちくご版』に掲載されています。

これまで合併は村の財政状況を考えた上で進めて来た経緯があるとの説明を全員協議会や住民説明会でいつもされてきました。お伺いします。村長は昨年の10月の時点で「星野村単独でやっていく場合」と「1市2町2村が合併した場合」のどちらが財政が悪化すると予想されたのでしょうか？

●それではお伺いします。村長は、今現在どう見ていらっしゃいますか？

●今回住民投票条例を請求をされた「星野村の未来を考える会」から10月に要望書として提出された項目の中に、

①アンケート調査の中の自由意見欄に寄せられた疑問、質問に対する回答を求める

②合併する場合、しない場合の比較対照が出来るシミュレーションを作り村民に十分な説明を求める

③再度星野村独自の賛否が判断できるアンケート調査を実施する。

という3つの要望がありました。

それに対して、11月5日の法定協議会設置を決める臨時議会までに時間がなく、1月5日以降に説明を随時行っていくとの回答をされたと思います。

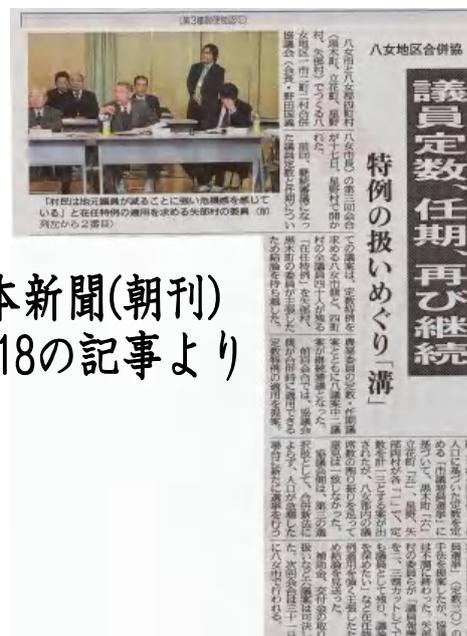
お伺いします。村長、これは実施されたのでしょうか？

●私は、アンケート調査の自由意見欄に対するの回答をしていく事が、“合併とは”どういうものか？を執行部も住民も考える良い材料だろうと思います。

お伺いします。村長は、今後アンケートの自由意見に対して回答していかれますか？

●法定協議会に参加して協議が進んでいく中で、議事は委員30名全員の賛成をもって

進めていく、となつていきます。お伺いします。村長は、今回の法定協議会が納得がいく形で進んでいると考えていらっしゃいますか？



西日本新聞(朝刊)  
2008.1.18の記事より



西日本新聞(朝刊)  
2008.2.13の記事より

●村長は30名の委員の1人であり、星野村のトップという立場でもありません。お伺いします。村長は、納得が得られないまま進んでいるのであれば、その時点で離脱する事は出来なかったのですか？



西日本新聞(朝刊) 2008.1.31の記事より



西日本新聞(朝刊) 2008.2.5の記事より

●今年1月30日に「星野村の未来を考える会」から住民投票へ向けた正式な手続きが

なされ、一方で2月4日に「1市2町2村の合併がスムーズに進むことを望む会」から、併へ向けてリーダーシップをとって欲しい！という要望書が提出されました。そして今年2月12日から15日まで4日間校区単位で法定協議会の中間報告を含めた合併問題の経過説明会を実施されました。お伺いします。説明会の中で提示された財政計画ですが、あの内容で十分だと思われませんか？

●仮に住民投票議案が可決して住民投票がなされる場合、あのシミュレーションでは合併を望んでいる方々も不十分だと思っていられないだろうし、合併しない方が良くと思われる方々も不安に思えて判断が難しいと思います。私は、星野村始まって以来、初めての住民投票条例を審議して採決するに当り、会期を延長してもシミュレーションの再提出を求めたいところです。

お伺いします。村長が、「星野村は自立でいい！」という強い決断がなくして基金を取り崩さない自立のシミュレーションは作れないはずですが、村長はどうお考えですか？

●大きな問題であるから住民の民意で決めた！という心境は分かりますが、村長自身は、組長レベルでの会合にも参加され、法定協議会での雰囲気も一番分かっていらしやると思うのです。

黒木町でも住民投票条例の採決が本日も行われませんが、黒木町の小川町長は、19日の記者会見の中で「1市2町2村の合併を推進する」と明言されたと聞いております。つまり、合併に対して賛成だ！という立場で議会へ議案を提出された訳です。傍聴席には多くの住民の方々が、村長の決断を注目しています。高木村長も合併を推進するのか？自立でいいことと考えるのか？明言できるはずです。村長の考えを伺います。』

最後の質問に高木村長は、「個人的には単独でいきたい」との答弁をされました。議員数名の質疑が終わった後、討論が行われ、私は次の内容で力強く賛成討論をしました。

『昨年の9月から実質始まりました1市2町2村合併に向けての協議は、会合を重ねる度に疑問が湧いてきました。その原因の一つが

星野村のトップである高木村長の意思が不明であったからです。

合併を本当に推進していくのか？合併せずに星野村単独でいくのか？公での明言がなされていないからだと思います。

しかしながら、本日この議会において、高木村長は法定協議会などで色々協議していく中で、星野村は新八女市となるのではなく、単独で行った方が良いと思う！との考えをハッキリと述べられました。

雲の中から一つの光が差し込んだような正に画期的な言葉だったと私は思います。

議員のみなさんも、村長の態度がはつきりしない！という疑問からやっと解き放された瞬間だったと思います。

議員のみなさん、迷うことはありません。星野村始まって以来の住民投票です。それも住民から上がってきました。この住民投票条例の制定を強く望んでいる方々は、自分自身のことだけでなく住民の模範となるべく星野村の繁栄のために自ら率先して頑張ってください、悟を持ったみなさんだと思います。ましてや、合併をするかしないかを採決するのではありません。住民投票条例を制定し、住民一人ひ

とりが「ふるさと星野村」を再度見つめ直し、行政に頼らず自らを律し、自治意識を促す絶好の機会だと私は思います。

“星野村民の星野村民による星野村民の為の村政”へ向けた、新たな一歩となる事を私は確信しております！

星野村の中から選ばれた優秀な議員のみなさんの大所高所からの良識ある判断を切に願います。私の賛成意見の結びと致します。』

議員全員が壇上に立ち、討論を繰り広げた結果、賛成4名、反対5名で議案は否決されました。

住民から法的な手続きを踏まえ提出された星野村始まって以来初めての住民投票条例は、今回は実現しませんでした。

この結果、星野村は合併に向けて最終段階に入ったと言えます。

※村長の答弁内容については次回の「議会だより」や議事録を参照して下さい。



西日本新聞(朝刊)  
2008.3.22の記事より

## 「自治意識」の差で 星野村の活力は決まる！

市町村合併問題を通して、合併すれば自分の暮らしはどうなるのか、今後どう対応していけば良いのかなどを村民一人ひとりが考える絶好の機会だろうと私は思います。すぐ極端に変わることはないと思いますが、変化に対応できる準備を進めておく必要があります。小さな子供や年配者などに無理な負担を掛けない事は当然ですが、地域の方々と常日頃から連携を取り、協力し合い、何事も自分の力で成し遂げよう！という意識が大切だと思います。“自分達の地域は自分達で守る”という「自治意識」こそが、今後の星野村に不可欠です。(一生懸命に努力されている方には、必ず助け舟が来ると私は思います。)

合併が決定したわけではありませんが、合併してもしつかりとした「自治意識」があれば立派な地域づくりができるはずですよ。

インターネットのホームページでも  
私の日々の活動を公開しています！

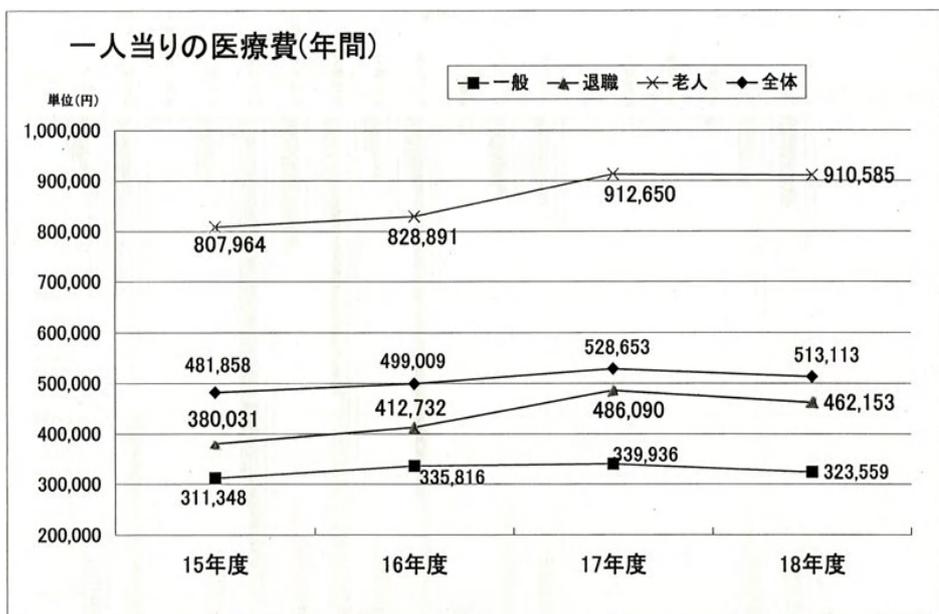
<http://h-yamaguchi.com>

山口浩久 検索

# 一月～三月の主な活動

一・四	新年名刺交換会	二・一二	合併問題地域説明会（上郷地区）
一・六	星野村消防団出初式	二・一三	星野村国民健康保険運営協議会
一・一一	全員協議会（第3回法定合併協議会協議項目について）	二・一四	合併問題地域説明会（星野地区）
一・一三	衆議院議員・古賀誠新春の集い	二・一五	合併問題地域説明会（椋谷地区）
一・一七	第1回臨時会（補正予算審議・副村長選任について）	二・二五	広報委員会
一・一七	第3回法定合併協議会傍聴（於星野村「そよかぜ」）	二・二五	全員協議会（第5回法定合併協議会協議項目について）
一・二一	全員協議会（法定合併協議会協議項目について）	二・二六	第三四回真名子ダム建設反対決起集会
一・二二	総務常任委員会（所管事務調査）	二・二八	第6回法定合併協議会傍聴（於立花町担い手研修センター）
一・二六	村づくりシンポジウム	三・三	区長と議会懇談会
一・二七	福岡県議会議員・重野正敏新春の集い	三・一〇	全員協議会（新年度予算などについて）
一・二八	全員協議会（第4回法定合併協議会協議項目について）	三・一一	3月定例会 本会議（議案審議）
一・三一	第4回法定合併協議会傍聴（於八女市農業活性化センター）	三・一二	3月定例会 本会議（議案審議）
二・四	全員協議会（法定合併協議会協議項目について）	三・一三	3月定例会 予算審査特別委員会
二・六	健康づくり推進協議会	三・一四	3月定例会 予算審査特別委員会
二・六	第一九回農業振興大会	三・一五	プレオープン記念式典
二・九	しぜん幼稚園お遊戯会来賓参加	三・一七	3月定例会 予算審査特別委員会
二・一二	第5回法定合併協議会傍聴（於黒木町役場）	三・一八	3月定例会 本会議（一般質問）
		三・一九	星野小学校卒業証書授与式
		三・二一	3月定例会 本会議（星野村合併

合併問題地域説明会（上郷地区）  
 星野村国民健康保険運営協議会  
 合併問題地域説明会（星野地区）  
 合併問題地域説明会（椋谷地区）  
 合併問題地域説明会（小野地区）  
 広報委員会  
 全員協議会（第5回法定合併協議会協議項目について）  
 第三四回真名子ダム建設反対決起集会  
 第6回法定合併協議会傍聴（於立花町担い手研修センター）  
 区長と議会懇談会  
 全員協議会（新年度予算などについて）  
 3月定例会 本会議（議案審議）  
 3月定例会 本会議（議案審議）  
 3月定例会 予算審査特別委員会  
 3月定例会 予算審査特別委員会  
 プレオープン記念式典  
 3月定例会 予算審査特別委員会  
 3月定例会 本会議（一般質問）  
 星野小学校卒業証書授与式  
 3月定例会 本会議（星野村合併



「村民一人ひとりの協力」こそ大きな力！  
 ★日頃からのちょっとした心がけを★

私は、星野村国民健康保険運営協議会委員と議会代表として星野村健康づくり推進協議会委員をさせて頂いております。

みなさんの健康に対する日々の心がけが、医療費抑制に大きな力を発揮します。定期健診はもとより再検診が必要な場合には必ず受け頂きたいと思っております。

毎年実施されている30歳以上を対象とした成人健診の受診率は18年度が77%、19年度が71%となっております。そして受診結果後の再検査(精密検査)受診率は、18年度が62%、19年度が40%となっております。

星野村の受診率が高い方だと思えますが、受診率をあと1%でも2%でも上げる事が、医療費抑制につながると私は思います。とにかく症状がひどくなる前に治療する事が大切です。

それから年々増加傾向にある糖尿病などの生活習慣病対策に関してですが、日々の食事内容と適度な運動を心がけて頂ければかなりの予防効果があると思えます。

一人ではなかなか出来ないかもしれませんが、家族、友達、近隣の人達と一緒に協力し、個人個人に会った日々の健康づくりを心がけて欲しいと思います。

又、星野村のゴミ処理費用は、なんと年間

約6000万円掛かっています。ゴミを少なくする工夫を各家庭を始め一人ひとりが意識して欲しいと思います。生ゴミなどリサイクル出来るものはリサイクルする工夫をお願いします。こうした一人ひとりの日々の心がけが、星野村にとって大きな力となります。

### 私自身が日課として心がけている事は

☆朝6時30分からのラジオ体操

☆約5キロの散歩

☆散歩しながらのゴミ拾い・朝の挨拶

ことわざに「早起きは三文の徳」とありますが、「一日の計は朝にあり!」です。

村民みなさんの“健康への心がけ”や“ゴミがない美しい星野村”を目指したご配慮をお願い致します。

### ヤマノ

今回の季刊誌は、紙面を多く取り、合併問題について私なりに整理して書きました。これからも注視し書き添えていく予定です。

星野村は、合併する方向で進んでいます。まだ正式に決定したわけではありません。

たとえ新八女市になったとしても、星野村の地域が八女地区の中で最も光り輝く地域でな

くてはならないと思っております。その為には、平成17年から進めています地域づくりを村民一人ひとりの心に浸透させていく努力が必要です。星野村議会議員としてみなさんのお役に立てるよう今後も努力して参ります。子供から年配の方までいつでも、「ひろひさ君」と気軽に声を掛けて頂けるような心がけていますのでよろしくお願い致します。

星野村はこれから一年で最も忙しい季節を迎えますが、健康にはくれぐれもご注意下さい。

観光立村を目指し、日本一のおもてなしの心でお客様を迎えたい!

そんな思いで、元気なあいさつ運動・美化運動・健康づくり運動に率先して励みます。

山口浩久へのご意見・ご質問などをお気軽に  
お寄せ下さい。(電話 五二一一二二二)

『小さな一歩・今日の一歩が』

明日の星野村を創る!』

村議会議員 山口浩久のホームページ

<http://www.h-yamaguchi.com/>

E-mail:info@h-yamaguchi.com